

MIGRATION GUIDE

確定給付企業年金（DB）から 企業型DCへの移行メリット

運用環境の変化にあわせて、DBから企業型DCへの移行を検討する企業が増えています。
移行のポイントを整理しました。

なぜ今、DBからDCへの移行が増えているのか

背景にある3つの変化

- ◆ 長期化する低金利環境により、生命保険会社等の予定利率が引き下げられる傾向にあります。
- ◆ DBは給付額があらかじめ確定するため、運用状況によっては会社側の追加拠出が必要になることがあります。
- ◆ 退職給付債務が会社の財務諸表に与える影響も、経営上の検討材料になっています。

DBとDCの比較（企業側・従業員側）

	企業型DC	DB（確定給付企業年金）
企業側メリット	積立不足が発生しない／退職給付債務が生じない	退職金制度を柔軟に設計できる
企業側デメリット	継続的な投資教育の運営負担がある	積立不足時に追加拠出が必要になる場合がある
従業員側メリット	自分で運用でき、ポータビリティも柔軟	給付額があらかじめ確定している
従業員側デメリット	受取額が運用成果に左右される	原則、中途引き出しができない

こんな兆候があれば移行の検討をおすすめします

- ◆ 退職給付債務や積立不足の状況が、経営上の懸念材料になっている
- ◆ 運営管理機関から予定利率の引き下げなど条件変更の連絡があった
- ◆ 従業員から「制度がわかりにくい」「自分で運用してみたい」という声がある
- ◆ 退職金制度そのものを、この機会に見直したいと考えている

移行のメリット・デメリットを整理したい方へ

貴社の現行制度をお伺いし、移行時の影響を具体的に試算します。

移行をご検討の際の進め方

1

STEP 1**現状の制度の棚卸し**

現行のDB制度の内容・積立状況・退職給付債務等を確認します。

2

STEP 2**移行シミュレーション**

DCへ移行した場合の会社負担・従業員への影響を試算します。

3

STEP 3**制度設計・労使合意**

掛金水準や移行時の資産の取扱いを設計し、労使で合意形成を行います。

4

STEP 4**移行手続き・投資教育**

各種届出手続きと、従業員向けの投資教育を実施します。

DBからDCへの移行、まずはご相談ください

現状の制度確認から移行シミュレーションまで、無料でサポートします。